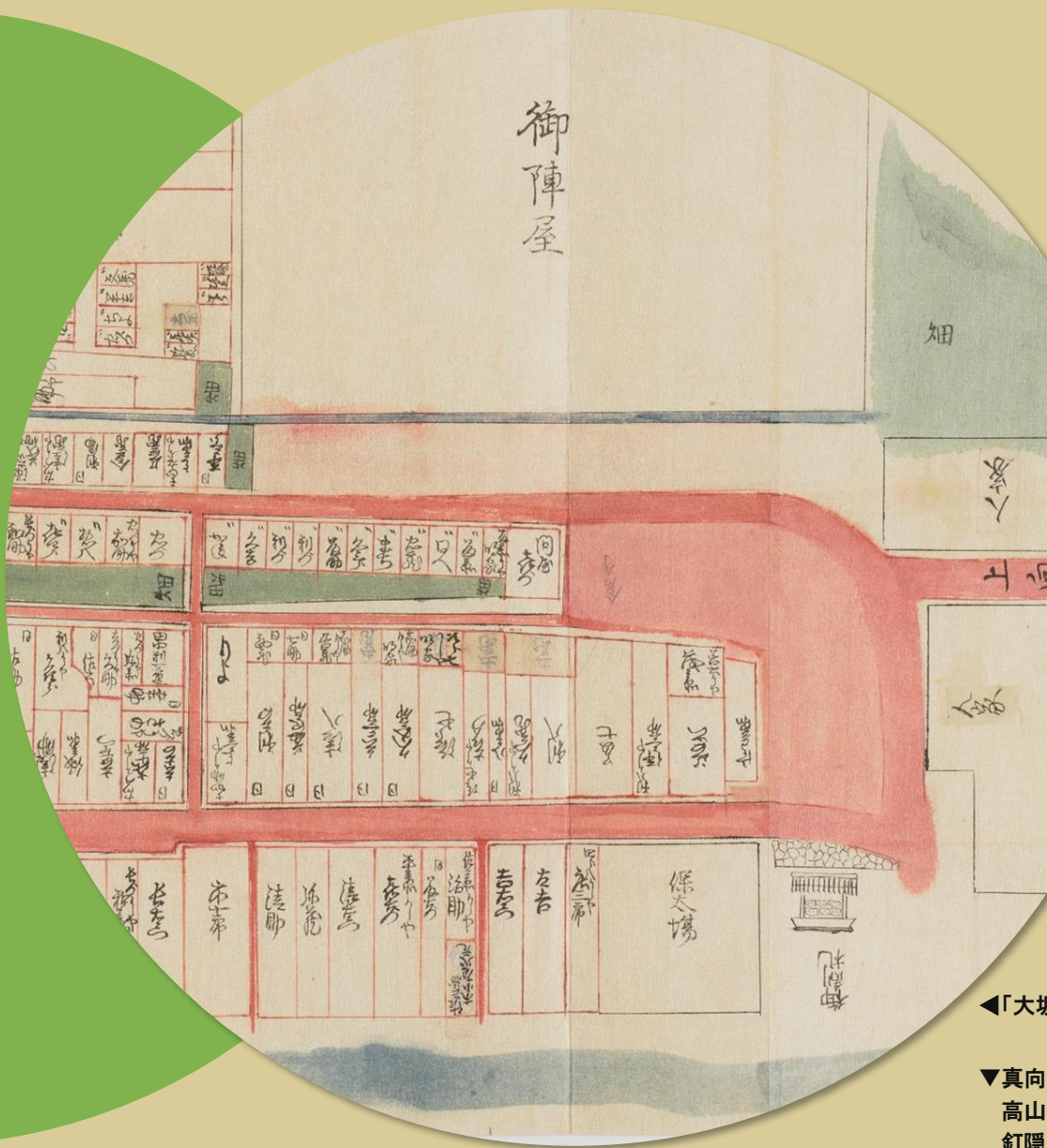


# 城下町から陣屋町へ — 絵図からひも解く高山の変遷 —

107年間にわたって飛騨国を治めていた金森氏が  
元禄5(1692)年に国替えとなり、飛騨国は幕府直轄領となりました。  
その後、金森氏の下屋敷に代官所(陣屋)が移され、  
幕末まで陣屋は飛騨国の行政の中心となっていました。  
飛騨国の支配が金森氏から江戸幕府へ移り変わったとき、  
高山町にはどのような変化が生じたのでしょうか。  
高山城を中心とした「城下町高山」から陣屋を中心とした  
「陣屋町高山」への変遷を、絵図などの史料から紐解いていきます。



◀「大坂屋火災図」(部分) 個人蔵

▼真向兎(まむきうさぎ)  
高山陣屋の所々で見られる  
釘隠しに使われた装飾



◆日時 令和6年度

**10/5(土)~11/24(日)** ※臨時休館日を除く  
8:45~17:00 ※11月は8:45~16:30

◆会場

**高山陣屋 9番蔵** (高山市八軒町1-5)  
※通常の入場料(440円・高校生以下無料)にて見学可能です。

◆問い合わせ先

高山陣屋管理事務所 TEL. 0577-32-0643

